



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス 上場取引所 東
 コード番号 9616 URL <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 卓味
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 幸治 TEL 03-5295-7778
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	23,608	△44.0	△4,521	—	△4,805	—	△6,423	—
2020年3月期第1四半期	42,169	14.3	3,154	23.7	3,019	24.8	2,077	32.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期△6,383百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期1,795百万円 (12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△164.75	—
2020年3月期第1四半期	53.29	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前事業年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、当事業年度は1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	231,426	76,673	33.1	1,966.51
2020年3月期	217,086	83,954	38.7	2,153.24

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 76,673百万円 2020年3月期 83,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績予想につきましては、6月に入り反転攻勢に転じ上向きつつありますが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が今後も予想されうることから、現段階において合理的に算定することが困難なため未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	39,218,826株	2020年3月期	39,218,826株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	228,974株	2020年3月期	228,844株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	38,989,881株	2020年3月期1Q	38,990,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気の減速傾向が一層強まる結果となりました。5月25日の緊急事態宣言解除後は、経済活動が段階的に再開されておりますが、第2波・第3波も懸念され未だ先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、まず寮事業において、海外からの留学生の来日延期などがありましたが、期初稼働率は93.7%と前年より若干のマイナスにとどまってスタートいたしました。一方、ホテル事業につきましては、インバウンドの減少や、外出自粛要請による出張及び国内レジャー需要の減少により稼働率が4月、5月に大きく低下し、6月に反転上昇したものの、マイナス影響となりました。なお、感染防止策の一環として、一部のホテルや外食店舗を一時休業いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は23,608百万円（前年同期比44.0%減）、営業損失は4,521百万円（前年同期は3,154百万円の利益）、経常損失は4,805百万円（前年同期は3,019百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,423百万円（前年同期は2,077百万円の利益）となりました。

なお、出張・国内レジャー需要につきましては、4月、5月は低迷したものの、6月の都道府県をまたぐ移動自粛要請の解除や、各都道府県の様々な観光キャンペーンの実施に合わせた当社新商品の販売などもあり、ホテルの稼働率は大幅に回復しており、7月以降もその回復傾向が続いております。また、国による『Go To トラベルキャンペーン』のスタートもあり、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、反転攻勢を着実に進めております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①寮事業

寮事業では、4月に全国で合計14事業所、1,095室を新たに開業いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大により、海外からの留学生の来日延期や、企業の新入社員研修需要の減少などにより、寮事業全体での期初稼働率は93.7%（前年比5.0ポイント減）となりました。

この結果、売上高は12,101百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は1,579百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

なお、寮事業におきましては、寮生様への経済的支援の一環として、『新型コロナウイルス就学支援プログラム』を実施しております。

②ホテル事業

ホテル事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により、インバウンドが急激に減少すると共に、国内でも不要不急の外出及び移動の自粛要請がなされ、出張やレジャー需要が減少したこともあり、稼働率は4月、5月と大幅に低下いたしました。なお、感染拡大防止のため一部事業所を一時休業いたしました。

しかしながら、5月25日の緊急事態宣言解除後は、ドリームの稼働率が急回復し、6月の国内宿泊者数は、前年同月とほぼ同水準に戻っております。また、リゾート事業におきましても、国内旅行者をターゲットとした『タクシーによる送迎付きプラン』、『地元在住の方限定プラン』等、新商品の営業推進が功を奏したこともあり、稼働率が上昇すると共に、客室単価もほぼ前年並みを維持しております。

以上の結果、売上高は4,194百万円（前年同期比78.9%減）となり、営業損失は5,610百万円（前年同期は1,683百万円の利益）となりました。

7月以降も回復傾向は続いており、今後は『Go To トラベルキャンペーン』も含め、ホテル事業全体でさらなる回復を目指してまいります。

③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、ホテルの稼働室数の減少や休業に伴う清掃業務の減少などにより、売上高は3,498百万円（前年同期比11.9%減）となり、営業利益は53百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

④フーズ事業

フーズ事業では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ホテルレストランの稼働減少や、感染拡大防止のために外食店舗を一時休業としたことなどの影響により、売上高は677百万円（前年同期比61.2%減）となり、営業損失は16百万円（前年同期は50百万円の利益）となりました。

⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、建設案件の増加などにより、売上高は4,409百万円(前年同期比6.2%増)となりましたが、当期は不動産流動化を実施しなかったことなどにより営業利益は155百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

⑥その他事業

その他事業は、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。PKP事業が着実に利益改善したことなどにより、これらの事業の合計は、売上高3,783百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益118百万円(前年同期比1,232.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、231,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,340百万円の増加となりました。主な要因は、資金の確保を目的とした、現金及び預金の増加などによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、154,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,621百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金、長期借入金の増加などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、76,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,280百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金の減少などによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.1%となり、前連結会計年度末に比べ5.6ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、6月に入り反転攻勢に転じ上向きつつありますが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が今後も予想されうることから、現段階において合理的に算定することが困難なため未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,303	30,266
受取手形及び売掛金	11,057	9,927
販売用不動産	211	186
仕掛販売用不動産	11,518	11,299
未成工事支出金	256	153
その他	9,290	9,350
貸倒引当金	△46	△48
流動資産合計	50,590	61,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,607	47,513
土地	44,509	45,453
建設仮勘定	13,805	14,813
その他(純額)	3,527	3,771
有形固定資産合計	109,450	111,551
無形固定資産	3,918	3,866
投資その他の資産		
投資有価証券	4,761	4,011
差入保証金	17,337	17,458
敷金	16,226	16,367
その他	14,394	16,648
貸倒引当金	△184	△183
投資その他の資産合計	52,535	54,303
固定資産合計	165,904	169,721
繰延資産	591	570
資産合計	217,086	231,426

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,124	9,840
短期借入金	12,034	27,481
1年内償還予定の社債	5,280	5,280
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	19,992	19,992
未払法人税等	1,900	1,420
賞与引当金	2,103	217
役員賞与引当金	404	28
完成工事補償引当金	9	9
ポイント引当金	6	6
店舗閉鎖損失引当金	—	180
その他	19,225	19,626
流動負債合計	71,080	84,082
固定負債		
社債	33,820	33,320
長期借入金	21,922	30,980
退職給付に係る負債	1,140	1,163
役員退職慰労引当金	251	251
ポイント引当金	0	0
その他	4,915	4,954
固定負債合計	62,050	70,670
負債合計	133,131	154,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,961	7,961
資本剰余金	12,817	12,817
利益剰余金	64,281	56,961
自己株式	△355	△355
株主資本合計	84,706	77,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△117	△87
為替換算調整勘定	△597	△590
退職給付に係る調整累計額	△36	△34
その他の包括利益累計額合計	△751	△711
純資産合計	83,954	76,673
負債純資産合計	217,086	231,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	42,169	23,608
売上原価	32,997	24,121
売上総利益又は売上総損失(△)	9,172	△512
販売費及び一般管理費	6,018	4,008
営業利益又は営業損失(△)	3,154	△4,521
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	32	28
助成金収入	2	46
その他	31	76
営業外収益合計	84	170
営業外費用		
支払利息	86	103
新型コロナウイルス対策費用	—	214
その他	133	135
営業外費用合計	219	454
経常利益又は経常損失(△)	3,019	△4,805
特別利益		
投資有価証券売却益	217	—
特別利益合計	217	—
特別損失		
臨時休業等による損失	—	2,886
ゴルフ会員権評価損	5	—
その他	—	321
特別損失合計	5	3,208
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,231	△8,013
法人税等	1,153	△1,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,077	△6,423
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,077	△6,423

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,077	△6,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	30
為替換算調整勘定	△106	7
退職給付に係る調整額	△1	2
その他の包括利益合計	△282	39
四半期包括利益	1,795	△6,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,795	△6,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,934	19,840	1,676	359	4,058	38,869	3,300	42,169	-	42,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	33	2,296	1,388	91	3,892	148	4,040	△4,040	-
計	13,016	19,874	3,972	1,747	4,149	42,761	3,448	46,210	△4,040	42,169
セグメント利益 又は損失(△)	2,088	1,683	91	50	195	4,108	8	4,117	△963	3,154

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△963百万円には、セグメント間取引消去△63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△899百万円が含まれております。全社費用は主に本社の経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,014	4,179	1,406	93	2,260	19,955	3,653	23,608	—	23,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	15	2,091	584	2,148	4,926	130	5,056	△5,056	—
計	12,101	4,194	3,498	677	4,409	24,881	3,783	28,665	△5,056	23,608
セグメント利益 又は損失(△)	1,579	△5,610	53	△16	155	△3,839	118	△3,720	△800	△4,521

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△800百万円には、セグメント間取引消去△169百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△631百万円が含まれております。全社費用は主に本社の経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。